

令和5年6月定例会で一般質問を行いました！

園児・小中学生のコロナ支援について

新型コロナウイルスは2020年2月頃から蔓延し、この3年間の学校生活は、マスク着用、手指消毒などの感染予防対策からはじまり、熱があったら登校しない、外に出ない、他の子どもたちと遊べないなど、心理的に窮屈だったと思います。特に、緊急事態宣言、外出自粛は子どもたちにとって怖そうな文字が並び、いったいどうなってしまうのかと心配したことだと思います。そして、子どもたちが楽しみにしていた修学旅行、運動会や体育祭、部活動などの自粛、地域では子ども会の自粛など、学校生活の思い出になる行事まで影響を及ぼしました。また、休校も多く外に出ることもままならない子どもたちはストレスを抱え、身体を動かすことも少なく、子どもたちの「こころ」「からだ」「考え方」まで変えてしまったと思います。5月8日から、感染症法上の位置づけが5類に変更されましたが、学校生活がコロナ禍前に戻るためには時間を要すると思います。中津川市の宝である子どもたちに、先ず、コロナ禍で傷ついた「こころ」と「からだ」のケアをすることが重要であると考え以下の質問を行いました。主なものをご報告いたします。



- ・休校、外出の自粛で家にいる時間が増えた結果、SNS、YouTube、ゲームなどをしてきた時間が増えたと聞いております。実際、どうであったのかを伺いました。
- ・3年間のコロナ禍で生活してきた子どものコミュニケーション能力の現状について伺いました。
- ・休校、行事自粛や外出自粛などが、子どもたちの身体や体力に与えた影響について伺いました。
- ・子どもたちがコロナ禍から受けた影響と課題についての対策を具体的に伺いました。
- ・コロナ禍の影響を少なくするためには、早い段階での取組みが重要で、子どもたちの成長を止めて待っている訳にはいきません。財政担当部の考え(園や学校生活におけるコロナ支援の予算化)について伺いました。

今後の市の対応について注視して参ります。



詳細は中津川市議会インターネット映像配信で見ることが出来ます。是非、ご覧下さい！



宮島としあき後援会事務所

〒508-0203 中津川市福岡2525番地3
電話・FAX (0573) 72-2263

発行責任者 宮嶋寿明

